

施策評価シート

施策等名称	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用	体系番号	0401010202
		主管課	農林課

1 施策基本情報

現状と課題	<p>間伐材は、貴重な地域資源でありながら里山などで行う切捨て間伐により発生する木材は山にそのまま放置され、その恩恵を十分に受けることができていないのが現状である。これまで山に切り捨てられ放置されてきた木材の活用方法を模索すること、またこれを地域経済の活性化に繋げていくことが今後の課題と言える。</p> <p>また、搬出間伐が行われた際の木材は、現在合板を製作する業者や木質バイオマス燃料の材料として販売しているが、その費用のほとんどは間伐費用の地域負担を軽減するため林業事業者が行う施策経費に充てられている状況。県が進める木質バイオマス発電施設等の新たな販路にも注視し、より利益の見込まれる方法の模索も課題である。</p>
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	<p>間伐材の活用に関し全般的な考えとして、地域から産出される木材が、より価値のあるものとして高価に販売できるかを模索するなかで、やはり地域から産出された資源を地域のなかで使用または、発信する、いわゆる地産地消によるシステムの構築を目指す。</p>

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	間伐材の利用促進に向けた研究会実施回数	間伐材の利用促進に向けた研究会の開催回数	0回	10回
②				
③				

施策の柱 1	名称	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用			主管課	農林課		
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	間伐材の利用促進に向けた研究会実施回数	間伐材の利用促進に向けた研究会の開催回数	0回	10回	1 森林保全管理事業(予算発生せず)	検討中	
	2				2			
	3					3		
						4		
						5		
						6		
	基本政策間連携							
	施策の体系	名称				主管課		
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1					1	
		2					2	
3						3		
						4		
						5		
						6		
基本政策間連携								
施策の柱 3		名称				主管課		
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1					1	
		2					2	
	3					3		
						4		
						5		
						6		
	基本政策間連携							

施策等名称	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用	体系番号	0401010202
		主管課	農林課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	間伐材の利用促進に向けた研究会実施回数	0回	1.00	0.00			
		10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	間伐材利用の新たな取組として、間伐材をバイオマス燃料化(チップ)し、ゴルフ場の入浴施設のボイラーの燃料化を図るための研究の場として地域協議会を設立した。					
	2019年度	間伐材の利用促進に向けた研究会未実施					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	間伐材の利用促進に向けた研究会実施回数	0回	1.00	0.00			
		10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	間伐材利用の新たな取組として、間伐材をバイオマス燃料化(チップ)し、ゴルフ場の入浴施設のボイラーの燃料化を図るための研究の場として地域協議会を設立した。					
	2019年度	間伐材の利用促進に向けた研究会未実施					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用	体系番号	0401010202
		主管課	農林課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	0	0	0	#####	
	うち一財(円)	0	0	0	#####	
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調	やや遅れている			
総合評価	主な取組内容や成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人団体との共催で、間伐により発生した木材を活用した薪割講習会の実施。</li> <li>・間伐材から作られた木質ペレットの消費拡大を図るため県と連携しペレットストーブの購入補助を実施(11台を補助)</li> <li>・間伐材を活用した木質チップを施設のボイラーの燃料に使用を検討する協議会を設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人団体との共催で、間伐により発生した木材を活用した薪割講習会(台風の影響で中止)。</li> <li>・間伐材から作られた木質ペレットの消費拡大を図るため県と連携しペレットストーブの購入補助を実施(8台を補助)</li> <li>・間伐材を活用した木質チップを施設のボイラーの燃料に使用(鹿山地区もりぐらし)</li> </ul>			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域全体の森林から発生する間伐材の利活用方法の確立。</li> <li>・主に切り捨て間伐により山に放置された間伐材の利用について消費できる方法の模索。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域全体の森林から発生する間伐材の利活用方法の確立。</li> <li>・主に切り捨て間伐により山に放置された間伐材の利用について消費できる方法の模索。</li> </ul>			
改革・改善	改革・改善内容	・林業振興ビジョン推進委員会により間伐材の活用方法について調査研究を行う。	・林業振興ビジョン推進委員会により間伐材の活用方法について調査研究を行う。			
	重点化する施策の柱	1	1			
	重点事務事業	1	1			
理由	間伐材の有効活用及び地産池消のシステム構築にあたり、県や民間など多方面と連携を行い研究が必要。	間伐材の有効活用及び地産池消のシステム構築にあたり、県や民間など多方面と連携を行い研究が必要。				

作成担当者	鎌倉 亮	藤森 龍		
最終評価責任者	五味正忠	五味正忠		
最終評価年月日	2019年5月31日			